ページ	質問議員	質問事項
8	栗原惠子	●期日前投票所の設置について　●空き家対策について ●「町政へのご意見箱」および「町長への手紙」の取り扱いについて
9	奥田とみ子	●南中学校に特別支援学級の設置を ●南部大公園及び町制記念公園のグラウンド整備対策
9	村山正弘	●行政区設置規程　●行政区について　●町民運動会一考
10	大沢　淳	●行財政改革推進会議の答申　●職員の時間外勤務縮減に向けた具体策 ●町外医療機関での医療や健(検)診の受診における利便性向上 ●教育公務員特例法改正と教員研修　●北部地域での公共施設の整備
10	水上邦雄	●教育の無償化について　●図書館の充実を ●伊奈町の高年齢者雇用の現状と今後の方向は ●犯罪被害者の支援について ●公園に障がい児と健常児が交流できる遊具の設置を
11	上野克也	●コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組について ●英語教育の取組について
11	戸張光枝	●民生委員・児童委員の担い手確保に向けて　●部活動遠征の安全対策
12	五味雅美	●介護保険制度について　●「伊奈町障害福祉計画」について ●通学路の信号機に歩行者用信号機を　●ペットが共存できる対策を ●「民泊新法」への対応は
12	青木久男	●先の衆議院選挙投票率について当町の課題を伺う ●住民課を中心とする総合窓口を設置したらどうか ●福祉の相談支援を総合的に行う窓口等の設置はどうか ●校庭等の緑化事業についてはさらに推進すべきと考えるがどうか ●スポーツ施設の整備拡充を
13	藤原義春	●伊奈町の高齢者の居場所づくりについて ●中学校が作成する調査書について ●小・中学校のいじめと不登校について ●南部大公園の砂塵対策について　●ごみ処理の広域化について
13	中原敦子	●伊奈町のペット防災　●生涯学習の充実に向けて
14	上野尚徳	●伊奈町の未来へ繋がる道。都市計画道路等の現状と今後は ●伊奈町の農業。供給先を限定したオーダーメード栽培で稼げる農業への取り組みを ●伊奈町の特産品。果物、酒、お菓子などの販路拡大を ●公園のメンテナンス。球技等での活用について

12人が登壇

12月定例会は、12人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(２月下旬掲載)

伊奈町議会　検索

北部地区の投票率向上対策は

栗原惠子（くりばらけいこ）　議員

期日前投票所の設置

問　小針北小学校に期日前投票所を設置した効果は。

答　土曜日・日曜日の２日間のみの開設であったが、３２３人の利用があり、一定の効果があったものと考える。

18歳からの若い世代の投票行動を望む

問　選挙に携わった立会人の大学生からの意見は。

答　学生からは、選挙を身近に感じられることができたなどとの意見があり、また大学側も積極的に協力する意向である。

今後の伊奈町の状況は

問　「空き家対策に関する協定」締結は。

答　近隣市の協定締結先の状況を踏まえながら検討している。

問　空き家の二次相談窓口の協定先は。

答　埼玉県宅地建物取引業協会を含めた不動産関係団体との協定を検討する。

「町政へのご意見箱」および「町長への手紙」

問　回答にあたり、どの職位の職員までが、その内容を理解し、回答しているのか。また、町長は全て把握しているのか。

答　担当課内で情報共有し回答している。全て町長決裁で対応している。

問　町民に、よりわかりやすい広聴制度とするため、それぞれを一本化する考えは。

答　住民サービスの向上と広聴制度の充実を図るため検討を進めていく。

南中学校に特別支援学級の設置を

奥田（おくだ）とみ子（こ）　議員

問　当町には、7校の小中学校がある中で、南中学校にだけ特別支援学級がない。学校教育法には、教育上特別な支援を必要とする者に対し、障害による困難を克服するための教育を行い、特別支援学級を置くことができるとあり、全国70％以上の小中学校が設置している。高まるニーズに支援体制が進んでいる状況の中で、町は特別支援学級を設置する考えはあるか。

答　南中学校への特別支援学級設置は、継続した在籍人数が見込めない理由で設置を見送ってきたが、障害者の権利に関する条約を踏まえ、学びの場を確保し、障害や発達の段階に応じた指導をする観点から、平成30年度南中学校に特別支援学級設置に向け検討していく。

特別支援学級の設置が待たれる南中学校

土埃に有効な対策実現に向け
検討が進んでいる南部大公園

南部大公園および町制記念公園のグラウンド整備対策について

問　南部大公園の土埃対策は、本年3月の定例会で質問し、土埃に有効な表層材「ヘルシーグリーン」の導入を提案した。検討した進捗状況と、町制記念公園のグラウンド整備にも導入できないか。

答　南部大公園については、研究・検討した結果様々な効果が予想できることから、導入に向け検討している。記念公園については、今後事例を研究し、検討していく。

行政区と町民運動会の改善を提言

村山（むらやま）正弘（まさひろ）　議員

行政区設置規程・行政区

問　現在の行政区は、2400世帯から130世帯で構成され、23区としている区分・合区の基準を定めるべきだ。また、区設置規程は昭和38年に定められた規程で、一方的に行政区設置を定めているる。行政区域住民の区への加入義務と行政サービスを受ける権利を明記して条例化すべきだ。

答　区設置規程では、200世帯以上の基準で分区が明記されている。分区・合区は地区住民の合意形成がなされたときに運用をはかる。条例化に関しては、現規程のままで問題はない。

内宿駅ホームより東方を望む

町民運動会一考

問　体育協会として総会前に、多数の町民の参加、勝者を予測できない競技、地域コミュニティ形成イベントとして検討すべきだ。伊奈まつりと並び町民全体のイベントであるので大切にしたい。

　人口4万人で現会場一か所では町民の参加が2千人位が限度である。

　各小学校庭で通学区地域での町民運動会の開催や体力を競う競技は高齢化等から一考すべきだ。

答　体育協会としては研究していきたい。

問　体育協会総会前の役員会で検討して欲しい。

答　町民運動会参加者の様々な年代で楽しめる競技種目を研究する。

北部地域に公共施設を

大沢（おおさわ）　淳（じゅん）　議員

問　北部地域に「ゆめくる」のような生涯学習拠点の整備を。

答　住民ニーズや財政状況を踏まえ検討したい。

職員の時間外勤務縮減を

問　民間コンサルタントの活用を。

答　外部講師を招いて研修会を実施した。

行財政改革推進会議の答申に対して

問　いなまるの高齢者有料化は取り入れないこと。

答　慎重に検討する。

問　バラ園町民無料化を。

答　無料招待券等を検討したい。

北部地域にも生涯学習拠点の整備を
（写真は南部地域の「ゆめくる」）

教員研修

問　行政研修の現状と課題は。

答　受講する教職員が学校を離れて研修する際に、受け持つ学級を空ける時間ができてしまう。

問　「いじめ」の問題を詳しく学ぶ機会の確保を。

答　初任者研修で必ず取り扱う。

町外医療機関での福祉三医療や健（検）診の受診

問　福祉三医療費無料化制度において、比企郡市などでおこなわれている町外医療機関での窓口払いをなくすこと。

答　町内での対応を継続したい。

問　特定健診やがん検診を町外の医療機関で受診できるように。

答　県内で近隣市に拡大しているのは、朝霞地区医師会4市。町内での実施を継続したい。

高年齢者雇用の充実を

水上（みずかみ）　邦雄（くにお）　議員

問　現状と今後の方向は。

答　従業員30人未満の事業所が1259社ある。町商工会と協力しながら、高年齢者の継続雇用制度の概要や「65歳超雇用推進助成金」の周知を図る。また、定年制を導入している事業所で高年齢者の雇用確保措置が講じられていない事業所には講じるよう働きかける。

図書館の図書の充実を

問　「ゆめくる」の図書室は工夫すれば開架図書を増やせる。近隣市の図書館数と開架図書の人口比率は。

答　上尾市9館1・9冊、蓮田市1館2・94冊、桶川市3館2・47冊、伊奈町2館1・59冊。

犯罪被害者支援を

問　相談者のプライバシーに配慮した対応を。

答　個室で、相談者の気持ちに寄り添った対応をしていく。

奨学金制度の拡充を

問　大学入学後の授業料や借入金の返済が40歳近くまでかかり、晩婚少子化の要因となっている。制度の拡充が必要だ。

答　近隣市の貸付実績等も考慮し研究していく。

公園に障がい児用遊具を

問　公園に障がい児と健常児が交流できる遊具の設置を。

答　交流可能で安全性が考慮された遊具の設置を研究していく。

障がい児用の遊具の設置が急がれる
（写真は「中部公園」）

コミュニティ・スクールについて

上野克也（うえのこくや）　議員

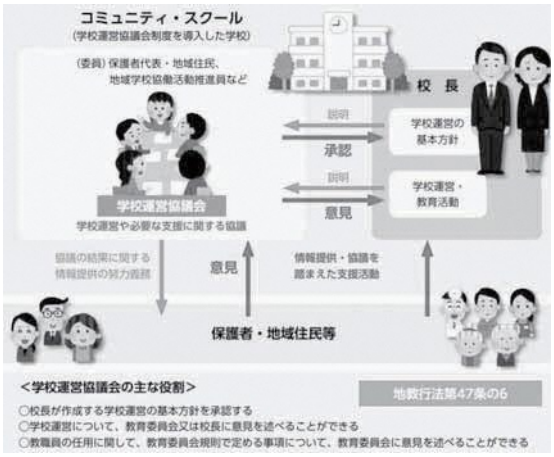
問　コミュニティ・スクールは、輝く子供たちの未来の創造に向け、学校と地域住民が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図る仕組みだが、町の取組みは。

答　制度として、コミュニティ・スクールの導入は必要なことと考えている。来年度は、学校、家庭、地域、行政等によるプロジェクト委員会を立ち上げ、学校、家庭、地域の連携を強化した学校づくりを進められるよう計画する予定である。

ネイティブ英語教育

問　ネイティブ英語教育を通じた地域創生戦略と伊奈町の英語教育は。

答　国際化、グローバル化が進展する現在、英語教育は非常に重要であり、将来を担う子どもたちが生の英語に接していくことは、国際社会で活躍して行くためにも有益と考えている。平成32年に町制施行50周年を迎えるが、その時までにアメリカのある都市と友好都市締結を結びたい夢をもっている。そのためにも、小さい時からしっかりした英語教育は必要と考えている。我が町もしっかりと英語教育体制を作っていきたい。



コミュニティ・スクールの仕組み

民生委員・児童委員の担い手確保に向けて

戸張光枝（とばりみつえ）　議員

問　無給のボランティアでありながら、福祉における重大な役割を担う民生委員・児童委員。急速に進む少子高齢化をはじめ家庭や地域の連帯感や支えあいの力が弱くなってきている中で認知症高齢者の増加や孤立死の問題等地域福祉を取り巻く環境は変化している。大事な民生委員の現場の声を吸い上げる事が重要。忌憚（きたん）なく抱える思いを書ける無記名のアンケート調査の実施は。

答　委員の素直な気持ちや思いなど本当の声を聞くことは大切。アンケート調査の実施を図る。

問　福祉協力員を後任者として流れを作ることは。

答　地域福祉を支えるという目的が同じであることから連携・協力の在り方を検討していく。

部活動遠征の安全対策

問　去年10月に石川県で起きた保護者による送迎事故の他、各地で起きている痛ましい事故を受けて町教育委員会として、どう考え、今後どう対応していくのか。

答　部活動の大会や練習試合等において貸し切りバスや公共交通機関の保護者負担の問題や、それを軽減するための保護者による送迎の交通事故のリスク等。より安全な移動の在り方やよりよい部活動の在り方を検討していく必要性を感じている。

民生委員制度100周年シンボルマーク

通学路の信号機に 歩行者用信号機の設置を

五味雅美（ごみまさみ）議員

問 高い信号機は子どもの視野に入りづらい。

答 歩行者用は、明らかに不要か、構造上無理な場合以外、設置が原則。確認し、対応する。

問 **介護保険の保険料を抑え、サービスの充実を。** 国は、要支援1・2に続いて要介護1・2も保険給付から外そうとしている。来年度からの変更で変わるものと、総合事業の進捗は。

答 地域包括ケアシステムへ事業展開している。保険料基準額は高くなる見込み。次期の重点項目は、介護予防の充実、ボランティア育成、在宅医療介護の連携など。

問 **来年度からの次期「障害福祉計画」は。**

答 相談事業所の増設、32年度目標で「基幹相談支援センター」設置など、相談支援を充実する。

問 **猫の糞尿被害等での啓発を。** 人間になくてはならないペットが、誰にも受け入れられるために、それで困っている人たちに配慮することが必要。

答 猫等の糞尿被害等の相談は増加している。飼育マナー向上と適正飼養の周知啓発を行う。

問 **「民泊新法」は、住民とのトラブルを起こしている違法民泊を合法化するもの。** 届け出だけで営業できるもの。条例での規制を求めるべき。

答 事業者には配慮をお願いする。

歩行者用信号は、右左折車が赤信号になる前に交差点から出られるためにも有用です

―校庭の芝生化― 他の学校にも広げたらどうか

青木久男（あおきひさお）議員

問 今年度新規事業で南小学校の校庭に芝生が張られた。グラウンドの芝生は見た目にも心が和む。

芝生の管理は大変だが何とか克服して他の小中学校へも広げたらどうか。

答 南小学校を芝生化したことで児童に与える環境変化や学校運営にどのような課題が生じるかを見極めつつ各学校長の意見を聞きながら検討していく。

問 **スポーツ施設の整備拡充** スポーツを通した心身共の健康づくりは、町民の友情と連帯を深め、明るい町づくりに最適だ。

丸山スポーツ広場のトイレの改善やテニスコートの残り2面の全天候化、パブリックルームの卓球台等々、スポーツ施設のさらなる整備拡充が求められているがどうか。

答 財政面も考慮しつつ各々適切に対応する。

住民課を中心とする総合窓口を設置したらどうか

問 転入時に必要な手続きが一か所で済むなどのいわゆる総合窓口は住民の利便性第一の重要施策と考えるが、これまでの検討状況や課題を伺う。

答 県内自治体での総合窓口設置はまだまだ少ない状況で、これまで具体的な事項を検討するまでにいたっていない。システムの導入やスペース等に課題はあるが、県内市町村の動向等を考慮しながら検討していく。

芝生の上だから転んでも平気、平気!!（南小学校）

中学校の作成する調査書について！

藤原義春（ふじはらよしはる）　議員

問　高校入試を受ける生徒の立場に立った調査書を希望する保護者もいるが、どう考えるか。

答　校長を委員長とする調査書等作成委員会を設け、客観的な事実に基づき公正・公平・厳正を旨として、調査書を作成している。

いじめと不登校を減らすための対策は

問　いじめの認知件数と不登校の児童生徒数は。

答　平成28年度のいじめの認知件数は、小学校が５０５件、中学校が99件。不登校の児童生徒数は、小学校が5人、中学校が26人である。

問　そのための対策は。

答　いじめの対策は、初期段階に認知し、その解消に向けて取り組んでいる。不登校解消のためには、休み始めたら不登校の前兆として捉え、速やかに対応している。生徒の落ち着ける「居場所づくり」や、全ての生徒の活躍できる「絆づくり」を進めている。

伊奈町のクリーンセンターは40年を超えて維持できるのか

問　上尾市と共同でごみ処理施設を建設する場合、10年以上先の建設となるが、約40年超経過する伊奈町のクリーンセンターは、老朽化して大丈夫か。

答　基幹的な設備の修繕等大規模な改修が必要な場合は、修繕費が膨らむが、計画的に対応する。

稼働してから29年以上経過している
伊奈町クリーンセンター

ペット防災のリーフレットを飼い主の手元へ

中原敦子（なかはらあつこ）　議員

伊奈町のペット防災

問　ペット防災のリーフレットをたくさんの飼い主の手元に届く配慮が必要ではないか。

答　埼玉県作成のリーフレットは、災害からペットを守る具体例が記載されており、ペット防災に大変有効である。今後、集合注射時での配布や町内動物病院での配布依頼等、より多くの飼い主の目に触れるよう検討していく。

問　今後、飼い主が中心となる同行避難訓練をどのように進めていく予定か。

答　当面の間、訓練対象区の飼い主の方々の協力のもと、訓練を実施していく。加えて、防災訓練会場内で、リーフレットの配布やポスター掲示等による啓発を検討していきたい。

生涯学習の充実にむけて

問　多種にわたる音楽活動をしたい町民のためにできる支援があるとしたら、それはなにか。

答　多種にわたる音楽活動にはどのようなものがあるか、どのような支援ができるのか、研究していく。

問　音楽活動ができる施設は、現状のままでよいとの認識か。

答　地域の音楽文化振興のためには、環境の整備は必要である。町の財政状況や地域の実情を踏まえて、研究していく。

ペット防災の大切さを知ることから
始めましょう

町で商売や農事業を営みたくなる仕組み作りを

上野尚徳（うえのなおのり）　議員

都市計画道路の開通、第2産業道路との接続で事業家に魅力的な伊奈町へ

問　町を縦断する最重要道路の伊奈中央線・第2事業区間の完成時期は。

答　用地測量→建物等の調査→用地交渉→支障物の移転。軟弱地盤の沈下対策工事が必要。完成時期は明言できない。

問　丸山駅前の道路は第2産業道路、17号に接続し、大宮栗橋線へ抜ける重要道。早期整備を。

答　幹線道で早期整備を望む。駅東側は狭く歩道もない。今後も要望する。

原市沼川調節池の芝生と草地
西小針公園、中部公園、原市沼川調節池の芝生、草地、アヤメ園跡地の多目的広場等身近な公園でスポーツ・球技を楽しめる環境整備を

オーダーメード栽培での稼げる農業への支援を

問　収益性の高いニッチな農作物の栽培へ支援を。

答　農家の意向、企業ニーズの把握に努める。技術指導、企業とのマッチング事業の活用も図る。

特産品（果物、酒、菓子、雑貨等）への支援。伊奈町での商売に魅力作りを

問　需要や販売場所等の情報収集、製品の情報発信、販売先の開拓支援を。

答　町のイベントで販売、スカイツリーでPR。マスコミやSNSで広報活動を行った。今後も振興事業、事業者支援を行う。

問　有名店等で取り扱ってもらう、映画等の背景に入れてもらう等、日の目をあびる取組みを。

答　NHK、テレ玉等で取り上げてもらいPRした。フィルムコミッションでの活用等も検討する。

会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

小粒でもピリッとした行政

日　時：平成29年11月7日・8日
視察地：長野県小県郡青木村・北安曇郡池田町
会　派：新政伊奈、無所属の会

エネ空あおきタワー

青木村と村商工会、村内企業などでつくる「青木村地域自然エネルギー研究協議会」は、太陽光と風力による複合型自然エネルギー発電装置を「道の駅あおき」に設置して実証実験を行っています。発電された電力は、非常用電源、LED照明、小型リビング野菜工場、燃料電池、電動自転車の充電等に利用しています。将来的には、電力自給率の低い発展途上国向けの、自然エネルギー複合発電システムの開発と応用により、国際貢献が可能となります。

元気な青木村の議場にて

池田町は花とハーブの里

信州あづみ野で知られる池田町は、平成2年より本格的な観光の取組みが開始され、現在年間30万人の観光客が訪れます。ハーブセンターが開設され、ハーブ関連商品が販売されています。また、池田クラフトパークからは、北アルプスの山並みを見ることができました。

今回、青木村と池田町を視察し、小さいながらも、しっかりと行政の行なわれている地区を見学し、知見を広めることができました。